

国語科（国語総合）学習指導案（例）

日 時	平成〇年〇月〇日（〇） 第〇校時
学年・組	〇〇科 第〇学年〇組（男子〇名、女子〇名）
教科書	「国語総合」（〇〇出版）
指導者	〇〇高等学校 教諭 〇〇〇〇

1 単元名 唐詩（「春暁」「送元二使安西」「涼州詞」「静夜思」）

2 単元の目標

- （１）文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。（関心・意欲・態度）
- （２）文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。（読む能力）
- （３）訓読のきまりなどを理解する。（知識・理解）

3 単元の指導観

（１）生徒の実態

漢文においては、１学期に基本事項を学んで以降、故事成語（２編）、寓話（２編）、唐詩（４首）と読み進めてきた。現在（３学期）、生徒は訓読の基本はおおむね理解している。使用している教科書に語注が丁寧に付けられているせいか、自ら漢和辞典を使って語句の意味を調べる生徒は少なく、大半の生徒は、教科書の語注を見るだけで満足してしまっている。学習態度は比較的良好であるが、主体的に学ぼうとする姿勢が不足している。

（２）教材観及び指導の方針

唐詩は比較的平易であり、語句を手がかりにして描かれた情景や心情を味わわせる教材として適している。

上記（１）の実態を鑑み、授業では、生徒に漢和辞典を使わせ、語句を手がかりにして主体的に詩を味わわせる学習活動を取り入れていく。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
・詩に描かれた情景や心情を、表現に即して読み味わおうとしている。	・詩に描かれた情景や心情を、表現に即して読み取り、詩の内容を理解している。	・漢詩のきまりや訓読のきまり、基礎的な語法を理解している。

5 単元の目標を実現するために取り入れる言語活動

詩に描かれた情景や心情をグループで話し合い、クラス全体に発表する。

6 単元の指導計画と評価計画

次	時	学 習 活 動	評価規準との関連	評価方法
1	1	・４首の詩を、教師の範読をもとに音読する（斉読→個人）。 ・詩の印象を表す一語をそれぞれ考え、ノートに書く。 ・詩の印象を表す一語について、周囲の生徒と意見交換をする。 ・自分が一番気に入った詩を選ぶ。		
2	2 （本時）	・前時で各自があげた「一番気に入った詩」をもとに、生徒を８グループに分けて展開する。グループごとに１首を担当させる。 ・２グループに同じ詩を担当させる。 ・担当する詩について、「漢詩のきまりに関すること（形式、押韻、対句など）」「用字法・句法に関すること」をワークシートにまとめる。	【知識・理解】	記述の点検、分析
	3	・前時にグループで話し合った漢詩の解釈をもとに、「詩に描かれた情景や心情」を考え、「一番気に入った」理由を振り返る。 ・「詩に描かれた情景や心情」をＡ３の用紙にまとめ、発表の準備をする。	【読む能力】	
3	4	・詩についてまとめたことを、グループごとに発表する。 ・発表グループと聞き手の生徒とで、詩についての質疑応答をする。 ・他の班の発表を聞いて、「一番気に入った詩」について、考えが変化したか等を振り返り、評価シートにまとめる。	【関心・意欲・態度】	観察 記述の確認

7 本時の指導計画

(1) 本時の目標

- ・漢詩のきまりや訓読のきまりを理解する。

(知識・理解)

(2) 本時(第2時)の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準・評価の方法
導入 5分	前時までの学習内容の復習と本時の目標の理解 ①詩4首を全員で斉読する。 ②教師の説明を聞き、本時の目標とグループ学習の進め方を確認する。	○グループは、第1時で生徒各自があげた「一番気に入った詩」をもとにして、3～4人を目安に編成しておく。	
展開 40分	担当する詩についてのグループ学習 ③自分のグループが担当する詩について、「漢詩のきまりに関すること(形式、押韻、対句など)」「用字法・句法に関すること」を確認し合う。 ④語句の意味を調べたり、口語訳をするなどして、詩の解釈を話し合う。 ⑤話し合いの結果を、ワークシートにまとめる。	○グループに分かれて着席させる。 ○文法書、漢和辞典を使用させる。 ○漢和辞典を使用させる。 ○ワークシートに黒色の太字のペンで詩を白文で大きく書かせる。 ○太字のペンは、各班に3色以上準備しておく。 ○字が小さくならないように促す。 ○「漢詩のきまりに関すること(形式、押韻、対句など)」や、「用字法・句法に関すること」を書き込ませる。 ○語句の意味や口語訳を書き込んでもいいことを伝える。 [努力を要するグループへの指導の手立ての例]: 文法書や漢和辞典で調べさせる。 ○活動が早く終了している班には、担当していない漢詩について調べたり、内容を話し合ったりするように促す。	【知識・理解】 「漢詩のきまりに関すること(形式、押韻、対句など)」や、「用字法・句法に関すること」を正しく示している。 (記述の点検 及び記述の確認)
まとめ 5分	次時の学習内容の確認 ⑥次時の予告を聞く。	○次時には、今回まとめた資料(A3用紙3枚)を使って、グループごとに発表することを確認させる。	

8 資料等 (具体例省略)